

全国農業

新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

2021年(令和3年)

5月21日

金曜日
月4回金曜日発行

首都圏

農作業本格化前に再点検を

山梨の安全研修会に120人参加



【山梨】果樹農業が盛んな山梨県では、農作業が本格化する前の4月下旬から5月にかけて、農作業安全研修会を開催した。

県内では、昨年までの10年間で68件の農作業死亡事故が発生しており、このうち乗用トラクターや動力防

除機など農業機械の運転操作中の死亡事故が74%を占めている。

こうした状況を踏まえ、4月23日には、県総合農業技術センターを会場に、トラクターや刈払機の安全操作、作業中の注意事項、危険な操作の事例について、約

約120人の参加者を対象に危険な操作などについて実演された

120人の参加者を対象に実演による研修を行った。

参加者からは、「トラクターに乗る前の機械点検やほ場の状況確認が重要」「ヘルメットなどの安全装備を必ず着用したい」「今まで当たり前のように行っていた作業が事故につながるということがよく分かった」などの感想が聞かれた。

研修会を主催した県農業技術課の田中由紀課長補佐は、「農作業が本格化する前の安全研修会で、作業前の点検や的確な機械操作など、基本をもう一度思い起こして農作業にあたってほしい。また、近年は、熱中症による農作業中の事故が増えているので、体調管理にも注意してほしい」と参加者に呼びかけていた。